

写真 1 病院跡地からの早池峰山眺望

花巻小学校校舎と同校の林があるため、図書館 2 階からは早池峰山や東側の山並みは見ることはできないと考えられる。3 階以上にした場合の一部見える可能性はある。北側は町並みを眺めることができる。

病院跡地の建物計画地盤は、今のまなび学園建物の地盤より 3 m 以上低い。仮に基礎を地盤より 1.5m 高くしたとすると、比較調査において想定した図書館の 2 階フロア高は今の地盤から 6.89m の高さとなる。従って写真 A の現在の地盤から 8 m の高さからの視点は、2 階フロアから 1.11m の高さからの視点であり、新図書館ができた場合には、建物東面の北角にテラス席などを設けイスに座った時の眺めと想定できるが、早池峰山や東側の山並みは見えない。北側は樹木等がないので、小舟渡・四日町方面を眺めることができる。



A 建物配置案の北東端 地盤から 8 m の高さで撮影



B まなび学園 3 階ベランダから撮影

まなび学園 3 階ベランダから見ると、花巻小学校の校舎と林はあるが、花巻小学校と離れているので早池峰山と山並みは見える

早池峰山

東側には宮沢賢治が「経埋ムベキ山」^{きょううず}とした早池峰山や鶏頭山、権現堂山、胡四王山などがある。

*「経埋ムベキ山」
賢治が、雨ニモマケズ手帳に自ら
そのように記した 32 の山

8m

地盤から 8 m
の高さで撮影

建物配置場所

